

平成19年度市町村振興総合補助金 市町村提案事業採択状況

市町村名	事業名（事業主体）	対象事業費 （千円）	補助金額 （千円）	事業の概要		採択・不採択	採択・不採択の理由
仙台市	シニア世代の地域 社会活性化貢献活動 推進事業 （仙台市）	3,922	1,961	（目的）	いわゆる団塊の世代の退職後、これらシニア世代が持つ能力や経験、意欲を、コミュニティビジネスや地域活動、市民活動を通じ社会に生かすことができるように支援することで、活力ある仙台の都市づくりに資する。 シニア世代の地域活動等への参加が促進されることによって、地域や地域経済の活性化が図られる。	採 択	シニア世代に特化した組織横断的な総合窓口の開設については、先進性・モデル性の点で評価しうるものであり、NPOや既存施設の活用等、事業実施手法にも創意・工夫が認められる。 ただし、支援センター開設後の管理運営に係る人件費相当分は、補助対象外とする。
			（内容）	・シニア活動支援センターの開設 シニア活動に関する総合窓口や関連事業を推進するため、備品や看板等を購入、作成し、シニア活動支援の中核機関を整備する。 ・シニア活動支援のための総合相談・セミナー等の開催 シニア世代が様々な活動を行う上で必要な情報の収集や調査を行い、情報提供や相談事業等を行う。また、関係機関等との連携を強化し、シニア活動支援策を推進するため「（仮称）シニア活動推進協議会」を設立、運営する。			
塩竈市	「塩竈」都市ブランドイメージアップ事業 （塩竈市）	5,540	2,770	（目的）	“社とさかなのまち”という日本中どこにでもあるものから脱却し、1,300年に及ぶ「港町」「門前町」という二つの顔を、他にはまねのできない市独自の個性的で魅力にあふれた都市イメージを確立し、若者が郷土に自信と誇りの持てるようなまちの創造、“都市そのものがブランド”となるよう施策を展開し、交流人口や定住人口の増大、市内で経済活動を行う優位性の確立を図り、企業誘致や地場産業の活性化を推進する。	採 択	歴史や景観等、地域固有の資源を活用して、都市のブランド確立・発信を図る総合的な取組であり、地域の独自性、先進性の点で評価しうる。
			（内容）	・港奥部北浜緑地環境整備デザインアドバイザーの公募 県事業である「港奥部北浜緑地環境整備」について、デザインアドバイザーを全国から一般公募し、プロポーザル方式で選任の上、当該事業の詳細設計に専門的立場で調整・提案を行う。 ・都市のブランド化の推進 厳選した地場商品へのオリジナル商標「塩竈ブランド」を検討する委員会を立ち上げ、シンポジウム等の開催により塩竈ブランドに関する市民意識の醸成を図り、また、「港町」「門前町」という二つの顔を一つのイメージとして統一し高めていくために、全国公募により、お洒落で印象的なシンボル（ロゴマーク）を制定し、都市のイメージアップを図る。 ・海商の館「亀井邸」歴史的環境の拠点化 海商の館「亀井邸」を、歴史環境整備の拠点施設として市民団体と共に活用する。具体的な活用方法としては、市民を対象とした観光ボランティア養成講座、イメージアップセミナー等を亀井邸を会場として開催するとともに、ギャラリーの設置等により市民団体等へ開放することにより、商店街・街歩きへの誘導拠点とする。			
多賀城市	たがじょう子ども 生活塾事業 （多賀城市）	2,481	1,240	（目的）	近年、保護者の就労形態の多様化により共働きの家庭が多くなってきていることに加え、全国的に子どもに関わる事件や事故が相次いで起きていることから、子どもの保護と安全確保に対する社会的要求が高まってきている。 現在多賀城市で行っている、小学1年生から小学3年生までの放課後児童等を対象とした留守家庭児童学級（18時まで）は、需要が増加し慢性的に定員を超過している状態にあることから、児童の安全を確保するとともに、基本的な生活習慣等を習得させ、子どもが心身ともに健全に発育するよう促す。	採 択	住民ボランティアを活用し、地域の子育て力の強化を図る取組であり、先進性、県施策との整合性の点で評価しうる。
			（内容）	・事業の本格実施に向けたアンケート調査と実証実験の実施 共働きなどで保護者の帰宅が遅い家庭の児童（小学1～6年生）が、授業を終えてから保護者が帰宅するまでの間、地域の高齢者や子育てを終えたベテラン主婦などの家庭で過ごすことにより、児童の安全が守られるとともに、一緒におやつや夕食を食べたり、家事の手伝いなどを経験させ、基本的な生活習慣や昔からの暮らしの知恵を学ばせる。 平成19年度は、ニーズ調査や支援者の育成、モニター調査を行う。			
計		11,943	5,971				